



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第95号
令和4年11月2日

勿津町議会だより



定例会は年4回

令和4年第3回定例会	2
議会改革調査特別委員会	3
決算審査特別委員会	4
一般質問	6
常任委員会	12
一部事務組合・私も一言	14
議会の動き・編集後記	16



QRコード

令和4年第3回町議会定例会（抜粋）

令和4年第3回定例会が8月29日～9月12日の日程で開催された。（決算審査特別委員会を含む）報告案件2件、同意案件2件、条例案件4件、補正予算3件、決算認定案件8件が上程、常任・特別委員会委員長報告3件、契約案件2件が追加上程、すべて原案通り承認可決された。



岸 重宏 町長

行政報告（抜粋）

●令和3年度一般会計決算は「健全化判断比率」は黒字決算で実質公債費比率は6%、将来負担比率は22.6%と危険信号基準を大きく下回った。

●河津町フラワートライアスロン大会
第7回フラワートライアスロン大会が10月30日に開催されることとなった。町民のみならずのご協力を願います。



過去のトライアスロン大会の様子

●河津バガテル公園指定管理業務について
令和5年度からの民間事業者による指定管理業務委託を目指し公募を行ったが、該当する候補がなかった。公募条件を見直し、再公募を行うこととした。令和5年4月の指定管理者業務の開始に向け事務を進めていく。

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について
臨時交付金を活用し、感染症対策事業のほか、水道料金免除事業、給食費負担軽減事業、公共交通機関燃料高騰対策支援事業等を計画している。

●可決された議案（抜粋）
●教育委員会委員の任命
植松 智子氏 浜 金指 正和氏 湯ヶ野

●補正予算
令和4年度河津町一般会計補正予算
内容（抜粋）
水道料助成金 3250万円
保育所、学校給食費補助金 1202万円

●決算審査特別委員会報告
令和3年度河津町水道事業会計決算認定および同年度河津町温泉事業会計決算認定について討論がなされた。

塩田正治議員

反対討論 決算中の未収金額が大きい。未収金計上の方向性が納得できない。

桑原猛議員

賛成討論 町は滞納対策の実施をしている。また、私債権関係の条例整備の検討等進めているため、認定に賛成する。

討論終了後、賛成多数で可決された。

令和3年度河津町決算

（単位：円）

会計別	歳入	歳出	差引残高
一般会計	5,058,734,598	4,754,195,699	304,538,899
河津駅前広場整備事業特別会計	3,723,778	3,575,778	148,000
土地取得特別会計	1,553,659	1,194,314	359,345
国民健康保険特別会計	1,099,023,832	1,055,703,488	43,320,344
介護保険特別会計	1,090,967,683	995,597,286	95,370,397
後期高齢者医療特別会計	110,785,943	110,442,843	343,100
公営企業会計		決算額	
水道事業会計	収益的収入	180,122,012	
	収益的支出	185,992,047	
	資本的収入	14,470,000	
	資本的支出	45,880,868	
温泉事業会計	収益的収入	114,588,347	
	収益的支出	86,696,833	
	資本的収入	3,135,000	
	資本的支出	5,175,708	

河津町議会改革調査特別委員会

議会改革調査特別委員会調査の活動

検討内容

- ・ 常任委員会の所管事務調査の活発化
- ・ SNSの立ち上げ等
- ・ LINEの活用
- ・ 意見交換会の開催
- ・ 議会だよりとの連携
- ・ ホームページの拡充と有線テレビの活用等
- ・ 議会報告会の開催について

議会報告会

各種団体との意見交換会
調査報告書
内容検討

委員会調査報告書として議長へ提出

- (1) 常任委員会の活動の充実を図る。
- (2) 住民の意見を吸い上げる機会を作り、政策提言など意見反映を進める。
- (3) 議員活動・議会活動の拡充のため、議員資質向上やICT導入など、研究事例の研究を進める。

令和3年度決算



6日間審査を実施し意見を付して決算を認定

付帯意見書

1. DX(デジタルトランスフォーメーション)*を推進し、業務の効率化と町民生活の利便性向上を図られたい。
2. 町独自で策定した「河津桜まちづくり計画」である。もっと真摯に計画実行に移されたい。
3. 温泉会館の老朽化が著しい。観光施設・福祉施設としての在り方を含め、改修や魅力づくりを検討されたい。

《令和3年度事業》

町民生活課

河津町資源ごみリサイクルステーション設置

524,310円

ごみの減量化を図るため、家庭から排出される新聞紙・ダンボール・雑誌等・古着及びペットボトル・並びにインクカートリッジの回収を行い町民の利便性を向上させた。



役場に設置された資源ごみリサイクルステーション

企画調整課

ふるさと納税事業

寄附額 **158,513,000円**(歳入)

件数 2,967件

主な執行事業

河津バガテル公園内ドッグラン整備

2,057,524円

教育委員会

河津町立南小学校トイレ改修工事

21,593,000円

3小学校統合に向けた施設改修工事

*DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、新しいデジタル技術を用いて、高効率な仕事の創出や共有、変革等を実現させること。

決算審査 特別委員会

コロナ禍での

《新型コロナウイルス感染症影響対策主な事業》

健康増進課(旧健康福祉課)

新型コロナウイルス感染症対策ワクチン接種事業
69,871,471円

	1回目接種		2回目接種		3回目接種	
	接種者数 (人)	接種率	接種者数 (人)	接種率	接種者数 (人)	接種率
対象者	5,730	85.4%	5,700	85.0%	3,993	59.5%

企画調整課・町民生活課

水道料金に対する費用助成
水道事業会計及び簡易水道組合等
23,795,068円

福祉介護課(旧健康福祉課)

子育て世帯臨時特別給付金事業
令和2年度の所得が児童手当の所得制限限度額未
満となっている子どもを養育している父母等に対
し、児童1人につき10万円
給付対象児童806人、80,600,000円

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業
低所得の子育て世帯に対し、児童1人つき5万円
子育て世帯生活支援特別給付金
給付対象児童72人、3,600,000円

教育委員会

大学生支援給付金
町内に住所のある大学等に在籍する者または扶養している
者、対象1人当たり10万円
延べ147人、14,700,000円

産業振興課

①河津町経済変動対策利子補給交付金
32件、6,141,078円
河津町小規模事業者持続化補助金
298件、34,600,000円

②1次産業特産品を活用した誘客活動
「泊ってくれてありがとう！
2021河津町特産品プレゼントキャンペーン」
4月から5回3,367件、15,380,000円

③地元消費拡大促進ため「プレミアム工事券」発行
15%プレミアム補助工事券35,868,500円分発行
総工事施工額58,138,538円

④町内消費循環を促すため
「河津エールプレミアム商品券」発行事業
50%プレミアム補助商品券9,000万円分発行
利用金額 89,710,500円



河津エールプレミアム商品券

町政を問う

一般質問



長野県小川村、移住者向け条件付き町営住宅



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



みやざき けいじ 議員
宮崎 啓次 議員

質問

移住者の条件付き戸建て町営住宅の建設は

答え 総合的に判断し、今後の方針を決めたい

質問

子育て世代の転入を目的の条件付き戸建て町営住宅の建設は。

移住者の起業に対する補助金制度は。

企画調整課長

当町では

町長 移住の機会の一助かもしれないが、現状考

空き家活用支援補助金制度がある。物件改修支援事業は10万円以上の改修の20%、上限20万円。

町長 町営住宅については、戸建てがいいのか、家賃補助がいいか。総合的に判断をして今後の方針を決めたい。

質問

空き家バンクや貸家の物件が少ないから提案している。空き家の片付けに対する補助金制度、

利用促進事業は登録物件の取得経費の3%以内、上限30万円。又は賃貸借した場合の家賃の1/2、

質問

消防組合の広域化の協議再開に向け考えは

答え 一歩でも前に進むよう努力したい

質問

下田地区消防組合の広域化協議の再開に向け、消防組合議会にて「協議を一日も早く再開するための」決議書が可決された。現状の考えは。

理者から進め方について協議があれば早急に推進出来るよう意見を述べる。

町長 協議を始めないとメリット・デメリットが認識出来ない。一歩でも前に進むよう努力したい。

町長

消防救急の広域化は災害対応などを含めて重要であると考える。管

期は駿東側の首長は「伊豆はひとつ、早く統合すべき」との意見だった。地域の将来を見据え、

他「縦貫道整備の発生土の活用について」一件

町政を問う

一般質問



わた なべ ひろし 議員
渡 邊 弘

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



河津バガテル公園ローズガーデン

質問 「コロナ」家庭での感染者、食事の提供など町の支援対応は

答え 自宅療養者などは保健所の対応。町はできるだけ協力

質問 感染し、自宅療養

る準備をしている。

3億5700万円を積ん

の場合など外出もできず

質問 発症した人たちの不安に町は相談窓口の設置などを考えているか。

だ。生活支援、飲食店なども含めた事業者支援が必要と思うが積んだ基金を支援策に活用できないか。

が対応は。

町長 食料支援などは保健所の対応。協力が必要な場合はできるだけ協力したいと考えている。

町長 保健所からの要請があれば対応する体制になっている。心配をされる方は遠慮なく町に相談してください。

町長 事業者も個人も大変苦労していると聞いている。国の対策を待って町でできることをやっていく。

健康増進課長 県は5日分の食料等を自宅に送付する。町は配送に対応す

質問 財政調整基金に1億5000万円追加し

いく。

質問 バガテル公園指定管理公募不調の原因は

答え 選定委員会の基準点に達せず該当者なし

質問 バガテル公園の指定管理は選定委員会によるプレゼンテーション、ヒアリングがあったなか不調となったが原因は。

要項により、適当な公募者なしとなった。内容については公表しないと要綱に定めがあるためご理解いただきたい。

テーションがされたのか。副町長 会社に問題はなし。申請書が要項に沿った作成の仕方ではなかった。

町長 選定委員会において、基準点に達せず該当する候補者なしとなった。

質問 どんな基準でどんな審査したのか、それを公表できないのは納得できない。選定委員会が営業施設を理解して評価したのか。どんなプレゼン

町長 一部閉園も検討しなければとの思いもある。

副町長 総合点300点のうち、基準点180点を満たさないため、公募

町政を問う

一般質問



ふるさと納税パンフレット



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



おおかわよしき 議員
大川良樹

質問

「高校生鉄道通学補助制度」の新設は

答え 町の負担が大きく断念をした

質問 稲取高校魅力化の進捗状況は。

町長 魅力化に向けての提案や高校への地元協力体制等が話し合われたが、テーマが幅広くまとまりきっていない。
質問 県立高校第3次長期計画の再検討に賀茂地区の再編が盛り込まれたが、当局の見解は。

町長 今後賀茂地区だけでなく、全県下で高校の在り方を協議する場を設ける方針と聞いている。地域の実情や父兄の負担増大、地域の活力低下など、高校と地域の関わりが深いので、説明や理解を得ることが今後のまちづくりにとっても大事。

質問 賀茂地域に通学す

る生徒への「高校生鉄道通学補助制度」新設は。

町長 電車通学の費用補助についても検討したが負担が大きく断念をした。
教育委員会事務局長 下田高校、稲取高校へ通う定期代の総額は約800万円、仮に1/2補助した場合でも財源確保が難しいと判断した。

質問

令和3年度、ふるさと納税寄附額は

答え 1億5851万円。主な返礼品は宿泊関係

質問 令和3年度ふるさと納税寄附額と取組みは。

町長 実績は、対前年度比で122%、約2900万円増の1億5851万円。

企画調整課長 前年と比べ件数は減ったが、寄附額は増えている。主な返礼品として町内宿泊施設の宿泊券及び補助券、新規返礼品としてわさび等

の地場産品や、ジビエ商品、浴衣のリメイク商品等。

質問 寄附額を伸ばすための検証と課題は。

町長 宿泊関係の寄附額が大きな割合を占めているので、平常時ならもつと寄附額が多かったと思っている。今後いろいろな角度から分析をしながら寄附額増加に向け

て取り組んでいきたい。
質問 近隣市町のような各課を越えたプロジェクトチーム創設の検討は。

町長 新聞等で寄附額を増やすためにプロジェクトチームを作っていることは承知をしている。これまで同様、委託業者も含め返礼品開発、PRをし当面は増額に向けていく。

町政を問う

一般質問



わたなべまさあき 議員
渡邊昌昭

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



西小学校上空からICを望む

質問

コロナ禍における農業者への対応は

答え

地域の実情にあった支援を行っていく

質問 コロナ禍において農業資材の価格が高騰しているがその対応は。

整も考慮し、今年度の実施に向けている。

質問 農業資材の高騰で

町長 交付金事業の計画として枠取りは確保できている。今後の補正予算対応を考えている。

特に化学肥料が高騰し、今後さらに高騰が予想される。国でも対応しているが長期的な対策を町はどのように考えるか。

産業振興課長 今後関係

産業振興課長 国の対策

団体と協議して国、県のほかの制度との均衡や整合性を図り、制度的な調

として肥料価格が高騰すると見込まれることから

質問

仮称河津IC周辺の活性化について

答え

コロナ禍において方向性が決まっていない

質問 伊豆縦貫自動車道

振興策について民間企業

IC周辺地域振興計画のこれまでの進捗状況はどうなっているのか。またこの夏に行われた西小学校の活用についてのアンケートの意図は。

など可能性を模索している。検討を含め方向性などは決まっていない。アンケートは地元の見聞を聞き、今後予定している公共施設整備検討委員会などの参考に活用したい。

町長 地域との会合等を

質問 以前、上地区のみ

予定していたが、コロナ禍で話し合いができていない。今後、周辺地域の

なさんがIC周辺の振興

計画について町長に提言し、さらに民間の力を借りたグランピングを提言している。町の考えは。
町長 現在のところ白紙の状況。民間の提案があれば検討したい。数々の可能性があるにしても具体的な検討はこれからになる。
他「給食費について」一件

町政を問う

一般質問



小学校の防災備蓄品倉庫



動画にて議会の様子がご覧頂けます



えん どう よし のり
遠 藤 嘉 規 議員

質問 子供に合った教育環境の整備が必要では

答え 個々の教育的ニーズに即した支援を進めたい

質問 国の調査で、近年

支援が必要な子供が増えており、通級指導の教室

も全国的に増えていると言

う。通級指導は、普通学

級と特別支援学級の間

にあるというが、町内の

通級指導の現状は。

教育長 通級指導とは小

中学校、高校で通常の学

級に在籍して、状況に応

じて通級指導教室で指導

を受ける教育形態。現在

は町内の学校には無い。

質問 通級指導を知らなければ

ニーズが生まれな

い、認知向上の取組みは。

教育長 通級指導という

教育形態や、その内容の

理解を広める必要がある

と認識している。学校か

らの便り等を通して通級

指導の理解が深められる

ように進めていきたい。

質問 支援が必要な子供

に合った教育環境の整備

が必要では無いか。

教育長 子供の成長発達

を仲立ちに、保護者と心

質問 統廃合後の校舎の防災機能は

答え これまで通り広域避難場所として考えている

質問 来年春で東小、西

小が廃校になるが、校舎

の防災面での位置づけは

どの様になるのか。

町長 統合後も、これま

で通り広域避難場所とし

て考えている。特に校舎

それぞれの広域避難場所、

避難所として今後も維持

していきたい。

質問 避難所の機能、防

災設備や備蓄物資の維持

管理は。

防災課長 空き校舎と

防炎倉庫の非常食、毛布、

携帯トイレ、テント等が

保管されており、町で管

理を行っているので継続

していく。固定電話等は

撤去も考えられるが、避

難所として開設する際は、

地域、東小は見高地域、

防災課長 西小は上河津

用も検討すべきと考える。

は冷暖房が完備されてお

り、夏冬には教室等の活

なっても定期的なメンテ

ランスをするので、避

難所としての機能は維持

できる。備蓄物資の維持

議会だより第95号

読者アンケート

抽選で5名様に
「河津踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

お名前

ご住所

ご連絡先

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。

お名前、ご住所、ご連絡先、各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。

締め切り
11月末日必着

- FAX番号・E-mailアドレス：下記参照
- 郵送先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局



スマホで簡単にアンケート
回答ができます

※郵送の際の切手代等は各自ご負担願います。

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。

なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

Q 1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q 2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。複数回答可）

- P. 2 令和4年第3回定例会 P. 3 議会改革調査特別委員会
 P. 4～P. 5 決算審査特別委員会 P. 6～P. 10 一般質問
 P. 12～P. 13 常任委員会 P. 14～P. 15 一部事務組合・私も一言
 P. 16 議会の動き・編集後記

Q 3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. もう少し 4. 不満

Q 4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報編集委員会より改めてご連絡申し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはありません。 議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX番号 0558-34-1405

E-mail:gikai@town.kawazu.shizuoka.jp

の活動報告



第1常任委員会メンバー

第1常任委員会

●第1常任委員会調査報告書の提出

公共交通に関する調査を行い、問題点、課題をまとめた。

町内の公共交通は、タクシーの営業時間短縮、自主運行バスの一部路線廃止が発生し、今後さらに公共交通空白地が発生する恐れがある。現行の公共交通を維持・向上させることが、喫緊の課題と位置づけ、新しい公共交通の在り方として、自立できる公共交通網を確立するため、各種制度を活用し、事業を計画・推進していく必要があると考える。具体的な検討内容として、参考事例をあげ、問題解決を進め調査のまとめとして報告した。

○主な活動

令和3年2月

調査方針の検討・決定
「公共交通の活用方法・今後の運用方法について」

6月

静岡県が実施する自動運転実証実験についての調査、先進事例の協議

7月

県職員を迎え「しずおか自動運転ShowCAS Eプロジェクト」をテーマとした月例会開催

9・10月

公共交通空白地有償運送と集落支援員制度等についての協議

令和4年4月

公共交通事業者を迎え「地域交通の現状」をテーマとした月例会開催

5月

公共交通空白地有償運送の県内事例視察

7月

株式会社リバティ代表取締役福原良佐氏を迎え、河津町での事業展開、民間企業ならではのITを活用したビックデータによる集客の手法等講話

第1常任委員長の一言

この2年間「公共交通の在り方」について検討し当町において、高齢者の免許証返納による、交通空白地域における住民の足の確保、自主運行バスの減便、町バス・町営バスの住民ニーズの検証、17時以降タクシー廃止等、多くの町民の皆様からの声を聴き、課題とし、視察を含めた調査研究を重ねてきた。

そのなかで河津に合った先進地事例として、配車アプリUberを活用した公共交通有償運送「京都府京丹後市 ささえあい交通」を調査、まとめとした。

ぜひとも早急に対応するよう次期常任委員会へ引継いでいきたい。



第1常任委員長
大川良樹



議員月例会の様子



第2常任委員会メンバー

常任委員会

第2常任委員会

●第2常任委員会調査報告書の提出

①町内の産業振興のため、国県の制度の積極的な活用による経済対策や、町内事業者への事業形態ごとに適時有効な情報の提供。

②学校において、誰もが取り残されることがなく、機材を有効に活用できるGIGAスクールの推進。

以上2点の実現に向け、町に積極的な事業取り組みを働きかけるため、報告書を提出した。

○主な活動

令和2年10月

調査方針の検討・決定
「アフターコロナの町内産業の振興について」

令和3年5・6・7月
調査テーマの調査・協議

8月

「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」に係わる検討

9月

「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」を静岡県知事へ提出

調査テーマにGIGAスクール構想についても追加調査とする決定

令和4年1月

GIGAスクール構想の取り組みについて西小学

校視察

6月

河津町商工会会員との意見交換会
6月27日、商工会館にて会員の皆様と意見交換会を行い、コロナ禍における実情や状況など、さまざまな意見や訴えを聞いた。



河津町商工会会員との意見交換会

第2常任委員長の一言

「アフターコロナの町内産業の振興について」をテーマに活動した。緊急事態宣言から蔓延防止措置が適用されることから町内の観光を中心とした産業は停滞してしまった。町内の観光産業を活性化すべく、県知事に対し、「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」を提出した。
商工会会員との意見交換会を実施し、直接意見を聞くことができた。
今後、各種団体との積極的な意見交換会を開催し、さらなる町内産業の振興を目指したい。



第2常任委員長
渡邊昌昭

下田地区消防組合議会

8月定例会が8月23日に開催された。

・**事業報告** 2月1日から7月31日までの管内での救急出動件数は1、811件で前年と比較し288件の増、搬送人員は1、669人で252人の増となった。その内河津町の搬送人員は269人で97人の増となった。

・**認第1号** 令和3年度下田地区消防組合会計歳入歳出決算認定について

・**議第6号** 職員の育児休業等に関する条例改正について

・**議第7号** 職員の給与に関する条例の一部改正について

・**議第8号** 指定金融機関の指定について

議第6号、8号の3議案の専決処分について承認した。

・**議第9号** 令和4年度下田地区消防組合会計補正予算(第1号)が審議され原案通り可決承認された。

・**発議第1号** 提出者「増山勇議員」が、議員が出産のための欠席届や請願書に関する「下田地区消防組合議会会議規則の一部を改正する規則の制定について」を発議した。

・**発議第2号** 提出者「宮崎啓次議員」が、管理者に対し、駿東伊豆地区及び下田地区の消防救急広域の協議に関する覚書に基づき協議が再開されるよう一日も早く積極的な対策を講ずることを求める、「駿東伊豆地区消防救急広域化の協議再開を求める決議について」を発議した。

両発議共に全員賛成で原案通り可決承認された。

☆県消防救助技術大会

第50回静岡県消防救助技術大会が6月14日に開催され、当本部から5種目15人の救助隊員が出場。ロープブリッジ救出優勝、引揚救助第2位に入賞。関東地区指導会の出場権を獲得しました。



ロープブリッジ救出優勝



引揚救助第2位入賞

「私モ一言」

「人の集まる」チャレンジ出来る「チャレンジショップ」

MFAマリン代表 渡辺昌宏

まずは自己紹介。歳は六十一歳、家族は三六歳の長男から次男・長女・次女。4人の子に恵まれ、現在7人の孫がいる幸せなお爺です。

今回チャレンジショップを始めた動機は、海洋中層水をベースに完成した栄養機能食品『ミネラル333米だし』を皆様に伝えたいと思い、おかずを入れたい思いから出店しました。『ミネラル333米だし』とは天然ミネラル豊富な味覚向上・健康・美容など、色々な効果が期待できるマグネシウム含有食品です。

チャレンジショップを通して、人と人の出会いの場作りと、海をテーマにした6次産業の直売所



駅前チャレンジショップで営業中



上村 和正 議長

議会議長の活動

7月

- ・郡議会議長会会議
(西伊豆町)
- ・全国町村議会議長会から感謝状授与



紙面に掲載されていない町議会議員の活動

- 町からの要請による議員説明会 (7月・8月)
- 川根本町議会特別委員会の視察受入れ (7月)



川根本町議会との意見交換会

議長に要請の諸会合他

- 6月
 - ・令和4年度伊豆縦貫自動車道建設関連総会等
 - ・県市町村振興協会理事会

7月

- ・令和4年度富士山静岡空港利用促進協議会
- ・「夏の交通安全県民運動」街頭広報
- ・静岡地方税滞納整理機構定期監査及び決算審査
- ・静岡県後期高齢者医療広域連合議会定例会

8月

- ・国道414号整備促進期成同盟会要望活動(愛知県)

改選後の新体制

- 議長 遠藤嘉規
- 副議長 大川良樹
- 第1常任委員長 渡邊昌昭
- 第2常任委員長 上村和正

編集後記

議会が普段何をしているのかよくわからない。という声を聞きます。議会の唯一の広報機関である議会だよりは、町民の皆様に対して、議員がどのような仕事をしているのか、理解をさせていただくために、解りやすく誰もが気軽に読んでいただけるような紙面づくりをしていかなければならないという思いで取り組んできました。

8年前、初めて広報委員になった頃の議会だよりを見てみると、紙面全体が文字ばかりで、手に取って読みたいとは、到底思えないような内容でした。あらためて自分たちなりに進歩して来たことを感じます。

これからの議会だよりをより良きものにしていくために、町民の皆様のアンケートによる声を届けてください。広報委員の励みと力の源になりますので、よろしくお願ひします。

広報委員長 塩田正治



- 議会広報編集委員会
- 委員長 塩田正治
 - 副委員長 桑原 猛
 - 委員 大川良樹
 - 渡邊昌昭
 - 遠藤嘉規

定例会日程は河津町ホームページで確認できます。
議会だよりは定例会ごとに年4回発行しています。次回は2月発行予定です。

議 会 傍 聴 歓 迎 し て お り ま す 。